

施策評価調書〔途中評価(平成30年度実施)〕

地域別計画

	作成年月日	平成30年10月26日	長崎県総合計画記載ページ	180	P
地域名	策 主 管 所 属	県北振興局			
	課(室)長名	局長 永松 和人			

1 地域別計画の内容

<p>【取組の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 福岡県との近接性など県北地域の特性を活かした人が集い、賑わうまちづくり 2 県北地域ならではの優れた資源を活かした力強い産業拠点づくり 3 すべての人が安心して生き活きと暮らせる住みよい県北地域づくり 		<p>【地域のめざす姿】</p> <p>西九州自動車道などの高速交通網の整備や国際港としての佐世保港機能充実を図り、活発な他県や海外との人・物の流れによる、賑わいにあふれ、あらゆる産業が発展する活力ある県北地域</p>
---	--	---

2 地域別計画の進捗状況と評価

施策の進捗状況の評価
<input type="checkbox"/> A : 順調 <input checked="" type="checkbox"/> B : やや遅れている <input type="checkbox"/> C : 遅れている
<p><<これまでの成果>></p> <ul style="list-style-type: none"> ●「肥前窯業園」にかかるターゲットを明確にした訴求力のある情報発信等を実施することにより、陶磁器関係施設の入館者の増加につながった。また、「肥前窯業園」への誘客や周遊促進を図るため、旅行商品等の充実強化に取り組み、13件の周遊メニュー等を造成した。 ●クルーズ船客の受入れ可能施設情報の収集・PRや旅行サービス手配業者の現地招聘等を実施した結果、平成29年度にクルーズ船客の県北地域周遊コースが新規設定された。(11件・バス:67台、約2,680名) ●指定園地制度継続やシートマルチ巻上装置などの省力機械・施設の導入、高性能共同選果ラインの整備により「西海みかん」のブランド率75%を実現するとともに、畑地灌がい施設等整備として針陽地区で21haを整備し、宮長地区で25haの地元合意形成を経て事業採択申請を行うなど産地生産基盤強化を実現した。 <p><<進捗状況に課題がみられる分野>></p> <ul style="list-style-type: none"> ●クルーズ船客の周遊については、免税店や無料施設が中心となっており、商店街等の地元消費が十分な状況にない。 ●第1次産業新規就業者数は、それぞれの分野において、関係機関と連携を図り、情報発信や就業相談など様々な取組を行っているが、漁業・農業分野において新規就業者数が伸び悩み、目標を達成していない。

3 地域別計画の数値目標の進捗状況

指 標	基 準 年	H28	H29	H30	H31	H32	最 終 目 標 (年 度)	進 捗 状 況 の 分 析
観光客延べ数	目標値①	/	1,376万人	1,411万人	1,446万人	1,481万人	1,516万人 (H32)	観光客延べ数は近年順調に推移していたものの、平成28年は、4月の熊本地震の風評被害により団体客を中心に宿泊キャンセルが多く発生したため、九州各県で「ふっこう割」事業に取り組み、旅行需要の早期回復を目指してきたが、県北地域の観光客延べ数は2.0%減となった。平成29年の観光客延べ数は、県平均の前年比3.7%増に対して、県北地域は1.8%増となるなど、持ち直しの兆しが見られた。今後は、本年7月に登録された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」や、今年度開通予定の西九州自動車道松浦IC等を活用し、国内外からの観光客をさらに呼び込むとともに、佐世保港に入港が急増している国際クルーズ船の広域周遊促進に力を注いでいく。
	実績値②	1,289万人 (H26)	1,301万人	1,324万人			進捗状況	
	②/①	/	95%	94%			やや遅れ	
製造業従業者一人あたり付加価値額	目標値①	/	—	—	—	—	1,215万円 (H32)	県北地域の製造業従業者一人あたり付加価値額は、基準年(H24)以降低下していたが、平成28年は初めて前年を大幅に上回っており、基準年の水準に戻りつつある。 ※平成28年実績値については、工業統計において粗付加価値額が公表されていない小値賀町及び佐々町を除いた数値である。 (平成29年実績は平成31年度に公表予定)
	実績値②	1,157万円 (H24)	901万円	算定中			進捗状況	
	②/①	/	—	—			-	

指標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	進捗状況の分析
第1次産業新規就業者数	目標値①		134人/年 134人 (H28)	134人/年 268人 (H28-H29)	134人/年 402人 (H28-H30)	134人/年 536人 (H28-H31)	134人/年 670人 (H28-H32)	134人/年 670人 (H28-H32累計)	第1次産業新規就業者数は、林業では平成28年度、平成29年度ともに目標値7人に対し実績値7人で、2年連続で順調に目標を達成した。農業は新規参入者（非農家出身や1ターン者）が伸び悩み、平成29年度は目標値70人に対し60人と目標達成に至らなかった。今後は、新規参入者の就業実態を分析し、不足する推進方策を検討するとともに、就業相談から技術習得支援、資金等の手当などが農促進を強化する。漁業は平成28年度が37人、平成29年度が38人であり、目標値57人に対し、達成率はともに60%台であった。新規就業者全体の50～60%を雇用型経営体であるまき網漁業が占め、近年の漁獲減、魚価低迷等により厳しい経営状況にあり、他漁業種を含めて、景気低迷や担い手不足の煽りを受け、求人募集するものの、応募が少ないことが要因と考えられる。この傾向は今後とも続くことが予想され、県では、平成27年度から漁協、市・町、系統団体等と連携し、漁業経営体に対して経営改善の指導・支援を実施してきているが、今年度から漁業所得向上対策（経営計画の策定支援、漁業機器導入支援等）により、更なる優良経営体の育成を図ることで、新規就業者の確保に繋げていく。
	実績値②	68人 (農林業:H22～H26平均) (水産業:H28)	144人/年	105人/年 249人				進捗状況	
	②/①		107%	93% (累計)				やや遅れ	

4 新たな課題や社会情勢の変化等

- 特定複合観光施設（IR）については、本県以外にも北海道や大阪府・市、和歌山県などで誘致の動きがある中、平成30年7月にIR整備法が成立し、全国での区域認定数の上限が3箇所とされた。
 - 佐世保港が「官民連携による国際クルーズ拠点を形成する港湾」に選定（平成29年1月）され、三浦地区の岸壁整備（平成30年7月延伸供用開始）に加え、浦頭地区の岸壁整備（平成32年4月供用開始目標）が進められており、今後、クルーズ船入港時における道路の混雑解消や佐世保市を中心とした周辺地域への周遊促進が必要である。
- <県政世論調査・各種アンケート・審議会等での意見>
- 平成29年度に「肥前産業圏」活性化推進協議会で行ったWEBアンケートにおいて、「肥前産業圏」の認知度は、長崎県内で34%となっており、さらなる周知が必要。



5 課題を踏まえた今後の対応方針

- 特定複合観光施設（IR）については、実施方針の策定、事業者の公募・選定など、区域整備計画認定申請に向けた準備を着実に進めていく。併せて、九州各県・経済界とも連携しながら、国に対する働きかけを行うとともに、説明会の開催等により県民の理解促進を図っていく。
- 佐世保港浦頭地区の供用時にはクルーズ客を乗せた大型車が集中することによる国道202号の混雑が予想されることから、浦頭交差点から西海パルライン入口交差点間の4車線化を進める。また、世界遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の県北地域の構成資産をめぐる広域周遊ルート等の造成など、受入体制の整備を推進する。
- これまで築き上げてきた情報発信ツールや今後の指針となる「事業戦略」、旅行商品の造成等の成果・実績を最大限に活かしつつ、肥前産業圏の交流人口拡大や県北地域の活性化に結びつくよう取り組む。

6 地域づくりの方向性を推進する主な取組の状況

番号	地域づくりの方向性	主な取組の状況	主な取組事業等（本庁所管課）
1	福岡県との近接性など県北地域の特性を活かした人が集い、賑わうまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ●日本遺産を活用した活性化策の推進（肥前産業圏） ・長崎・佐賀両県、関係8市町、関係団体等と連携した「肥前産業圏」のやきもの文化や地域の魅力発信及び歴史・文化ツーリズム創出による地域活性化の推進 ●旅行サービス手配業者の招聘（クルーズ） ・主に福岡・長崎の旅行サービス手配業者（ランド旅行者）へ出向き県北地域の観光のセールスを行った後、県北地域にランド旅行社を招聘し、地元市町・観光協会の協力の元、観光案内・旅行商品を提案 ●西九州自動車道における用地取得の支援 ・九州北西部の広域的な連携を図り、地域の活性化に大きく寄与する西九州自動車道の整備促進のため、県北振興局内に「西九州道推進室」を設置し、国の事業用地取得を支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・「肥前やきもの文化」を核とした歴史・文化ツーリズム創出事業（地域づくり推進課） ・県北地域広域周遊促進事業（観光振興課） ・国道497号西九州自動車道松浦佐々道路工事（道路建設課）
2	県北地域ならではの優れた資源を活かした力強い産業拠点づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●若者定着対策 ・県北地区若者定着促進連携会議を開催（2回）し、課題の共有と対策を検討 ・佐世保工業高校1年生6学科の職場見学バスツアー実施 ・新高卒者等への県独自寮の一部貸付 ●第1次産業新規就業者の確保 ・漁業就業実践研修事業により、新規就業者確保に向けた3人の漁業技術習得期間の生活費を支援 ・地域就業支援センターを中心とした関係機関連携による新規自営就農者の確保・育成（60人 H29） ・受入団体等登録制度活用による新規農業参入者の受入態勢整備（登録受入団体等43 H30.6月現在） ・森の仕事ガイドダンス等による新規林業就業者の確保（7人 H29） ●「西海みかん」ブランドの維持と畑地灌がい施設等整備による生産基盤強化 ・指定園地制度継続やシートマルチ栽培管理の徹底、省力機械・施設の導入、高性能共同選果ライン整備による「西海みかん」ブランドの維持（ブランド率75% H29） ・畑地灌がい施設等整備による生産基盤強化（灌がい施設整理 針陽地区21ha、基盤整備事業採択申請 宮長地区25ha） 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者県内就職対策事業（若者定着課） ・漁業就業実践研修事業（水産経営課）、新規就農者確保対策（農業経営課）、次世代につながるのちからフル活用事業（林政課） ・農業競争力強化基盤整備事業（農村整備課）

3	<p>すべての人が安心して生き活きと暮らせる住みよい県北地域づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●日野川、相浦川、早岐川等の整備 ・治水対策が強く望まれている日野川、相浦川、早岐川等の整備を促進し、多発する浸水被害を軽減することにより、安全・安心な地域づくりに寄与する ●小値賀漁港の港湾機能整備(岸壁耐震化) ・小値賀漁港の岸壁耐震化により、離島地域における水産物の安定供給や防災拠点漁港としての機能強化を図る。併せて、防波堤の延伸、改良により漁港内の静穏度を向上させ、抜港による島民生活への支障を改善する ●原子力災害時の避難経路となる佐世保世知原線(板山トンネル)の整備 ・松浦市、旧世知原町、佐世保市中心部を最短ルートで結び、アクセスの安全性、円滑性を高めることにより広域的な連携を可能とし、また原子力災害時の避難経路としての安全・安心の確保のため、一般県道佐世保世知原線(板山トンネル)を整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・河川改修事業(河川課) ・小値賀漁港水産生産基盤整備事業(漁港漁場課) ・一般県道佐世保世知原線道路改良工事【板山工区】(道路建設課)
---	---------------------------------------	--	--

